

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

主任司書、主任専門員（司書）

| 評価領域 | 着眼点 |
|--------------------------------|---|
| <p>I 図書館運営</p> <p>II 図書館管理</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を広く理解し、学校の教育目標の達成に向けて、教科・特別活動等の指導や調べ学習に関する支援に意欲的に取り組んでいる。 ・学校の方針や生徒の興味・関心を的確に把握し、生徒の読書活動につながる支援や指導を積極的に行っている。 ・学校図書館の運営等について、教育目標などを踏まえて計画・立案を行うなど、学校図書館の活性化に向けて工夫や改善に前向きに取り組んでいる。 ・図書館資料の管理、学校図書館の施設・設備の整備や情報機器の維持・管理を適切に行っている。 ・学校図書館の円滑な運営に向けて、管理職や他の職員や関係者と連携しながら、適切に説明・提案や指導・助言を行っている。 ・担当業務に必要な知識・技能の習得及び向上に努めるとともに、専門的な知識を十分活用しレファレンスや利用案内、ガイダンスなどを行っている。 ・定められた手続きに従い、職務を責任感を持って正確に遂行している。 |
| <p>III その他の校務等 校務分掌等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌等の意義や自らの役割を理解し、担当する職務を効率的かつ迅速に処理している。 ・課題について改善策を工夫するなど、職務に意欲的に取り組んでいる。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。 |
| <p>チームワーク行動</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。 |